

## 山梨北中ブロック交流研究会

### テーマ

小中の連携を深めることにより、山梨北中ブロックの児童・生徒の指導に生かす

### I 主題設定の理由

山梨北中学区の児童・生徒を健全に育てるためには、普段交流する機会の少ない小・中の教職員が共有の活動や話し合いを持ち、教育上の課題を見つけ、より良い解決の方法を探り、連携を深めることが必要だと考える。

本ブロックでは、同じ地域で学ぶ子どもたちを共に教育するという立場から、教師自身が地域に対して共通理解を深めることが必要だと考え、臨地研修をおこなってきている。本年度も、地域の自然・文化・歴史についての見識を深め、学習活動に活かすため、講師を招いて、地域素材に関する臨地研修を継続して実施した。また、小・中の授業参観や研究会を持つことで、児童生徒への理解が深まり、小中連携して指導にあたることができると考え、本テーマを設定した。

### II 研究の具体的内容

#### 1 第1回交流研究会(臨地研修)

- (1) 日時 平成23年8月5日(金) PM1:30～
- (2) 目的 地域内の歴史、自然、文化等についての学習会を行い、地域についての見聞を深め、授業に役立てる。
- (3) 内容 各小学校区の4つのコースを設定して、学習する。

##### ①岩手小学校区コース

講師 佐藤裕彦さん(元 山梨市文化財審議員)

『上野家住宅・信盛院見学』

##### ②八幡小学校コース

講師 古屋 久さん

『分水ます・かご石など西保せぎをたどり、昔の開発を学ぶ』

##### ③日下部小学校区コース

講師 竹川 久雄さん(日下部公民館長)

『日下部公民館－飯島家住宅－亀甲橋－法藏寺』

##### ④後屋敷小学校区コース

講師 本間 愛教さん

『国宝清白寺の建物の見学と座禅体験』

#### 2 第2回交流研究会

- (1) 日時 平成23年11月16日(水)午後3:10～ 授業参観  
4:10～ 学年別研究
- (2) 目的 中学校の授業を参観し、情報交換及び懇談を通して小中の連携を強化して

今後の教育活動に生かしていく。

- (3) 内容 山梨北中学校の授業を参観し、情報交換や意見交換を行う。

### 3 第3回交流研究会

- (1) 日時 平成24年1月18日(水) 午後2:00～ 授業参観  
3:00～ 研究会
- (2) 目的 小学校の授業を参観し、情報交換及び懇談を通して小中の連携を強化して今後の教育活動に生かしていく。
- (3) 内容 日下部小学校・八幡小学校の授業を参観し、情報交換や意見交換を行う。

## Ⅲ 成果と課題

### 1 成果

- (1) 臨地研修
- ・個人では体験することの難しい、地域の歴史にふれたり、日頃できない貴重な体験をしたりすることができた。
- (2) 小中学校の交流授業
- ・中学校の授業公開は、小学校の教職員にとって卒業生の中学校での学校生活を参観し、成長を見て取れるよい機会となった。
  - ・授業公開で、他校の様子を参観したり情報交換をすることでたいへん参考になった。
  - ・全クラスが一斉に行う小中の授業交流において、日常の授業や学校生活の様子を参観することができた。小学校区では、学校規模を考慮して組み合わせをしたので、参観者の平均化ができた。

### 2 課題

- (1) 臨地研修
- ・今年度の研究日が、特別支援教育の研修会や中学校の部活関係行事で参加率が低くなってしまったのは残念だった。
  - ・今年度は天候が安定していたので計画どおり実施できたが、今後は天候や酷暑対策等も含め、よく考え計画していくことも大事である。
- (2) 小中学校の交流授業
- ・教職員の連携を中心に行っているが、これからは教職員と児童生徒、児童と生徒などの交流も模索していきたい。
- (3) その他
- ・来年度は、「英語科」の教育課程特例校が学区全体に広がることになるので、北中ブロック英語推進委員会と連携させて、共通理解を図ったり、情報交換や授業公開など行ったりして、交流がより一層深められる機会となるとよいと思う。

(ブロック長 廣瀬明子)